

壬生町政がま

住民登録人口

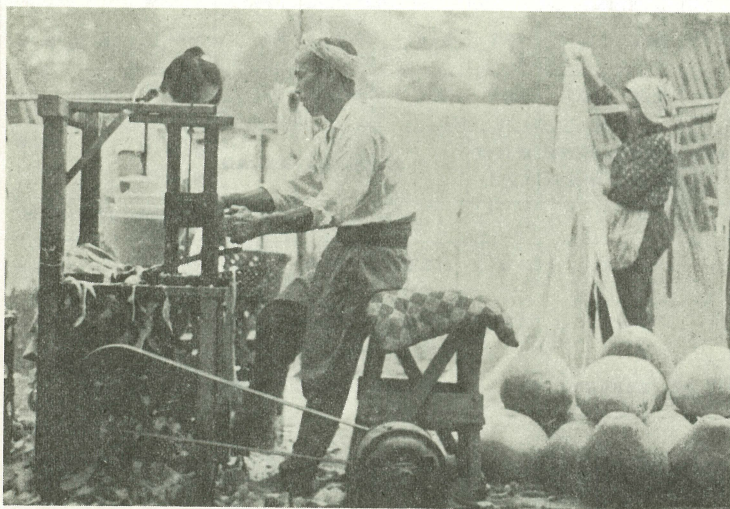
	昭和44年8月1日現在	対前月比
総人口	25,251人	24人増
男	12,460人	27人増
女	12,791人	3人減
世帯数	5,376世帯	8世帯増

発行所 栃木県壬生町役場

(毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可

一部 7円20銭



写真は藤井の須藤金治さん宅

今、干瓢たけなわ

朝まだ暗いうちから干瓢むきのモーターの音が聞えてくる。

山と積まれた「ふくべ」を一つ一つ皮をむき、ほうたいのような白い干瓢がとび出してくる。

それを一本一本、竹竿にかけならべられる。白く長くお化粧したすだれ干しは夏の風物詩として郷愁を誘う。

昭和43年産の干瓢作付面積は、およそ363ヘクタールで、製品としての重さは、約559トン(10アール当り154kg)金額にして、約2億8千万円の干瓢がわが壬生町の特産物として生産されています。

今年の作付は昨年を上回る程の面積。だが、悪天候が続くべがたまる一方、またお天気の日ともなれば誰の手もかりたい程。

今年もこの丹精こめて作った干瓢の相場が安定してほしいものです。

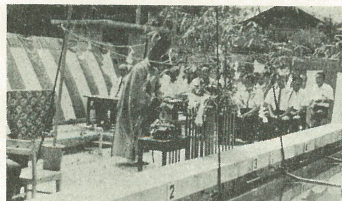
9月の納税
お忘れなく

国保税第3期分
国民年金7.89月分

安小・稲小の プールが完成

プールが完成

昭和四十四年度の事業として、
安小のプール竣工式



安小・稲小の両校にプール建設が行われていましたが、このほどりっぱに完成し、安小では八月八日午前九時からその竣工式が行なわれました。なお、稲小は二十日竣工式が行なわれました。

式後、生徒たちによるプール開きで子どもたちは、水しぶきをあげて大喜びでした。

両校とも予算五十一万円で、長さ二十五メートル、幅十メートルの五コース、深さは八十センチから一メートル、脱衣場、シャワー室、洗面場など、また浄化設備もなされています。

なお、このプールは、県内でもめずらしく木造工事でピアノノ輸入のパネル組み立て工法を用いて、工事も短期間でできたものです。

狩猟者講習会

とき 九月 八日 午前九時
ところ 栃木市役所
業務所へお問い合わせください

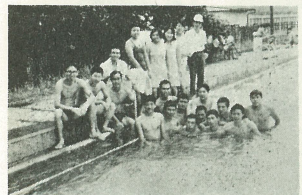
壬生町の体協水泳部は、昨年ひき続き破格の二十連勝を成し得ました。

成績は次のとおりです。

- 一位 壬生町
- 二位 大平町
- 三位 岩井町
- 四位 都賀町
- 五位 藤岡町

壬生町が二十連勝

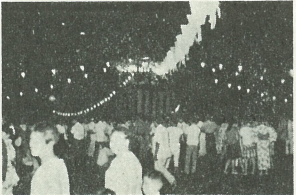
連勝した壬生チーム



延べ一万人の出入で賑う

壬生納涼盆踊りは、八月十四、十五日の両夜にわたって、壬生小学校で盛大に行なわれました。

壬生小で開かれた盆踊り



会長に高木氏

職務代理に高山氏を互選

新しい農業委員が七月二十日誕生し、第一回目の委員会で次のような役職に就きました。

会長 高木信一 職務代理 高山氏 第一号議員 佐藤一 第二号議員 佐藤一 第三号議員 佐藤一 第四号議員 佐藤一 第五号議員 佐藤一

毎月一日と

第3水曜日は交通安全日です

事故を呼ぶ酒は飲むまい飲まずまい

お茶の間メモ

夏休みも終り

つづく法師が朝からなだてて、学校の夏休みもいよいよ終りに近づきました。夏休みの計画はどの程度までうまくいったでしょうか。宿題や勉強の進み具合、海や山の思い出など、反省をくみ取り、夏休みを思い出して、残りの少ない夏休みをいかに過ごそうかと、もうすぐ、早起きなど、新学年の準備を始めてみる。そして、もう間近に迫っている二学期への体の調整、精神的安定ということに重点を置いて、ゆったりとした気持ちで新学期を迎えたいように心掛けていきましょう。

台風へ備えて

九月の雨を聞くと、朝夕はめづなり涼しくなります。日曜日も短くなり、もう日暮れか。と、秋の気配を感じます。

そんなさわやかな初秋も、十日前後から、いわゆる秋の長雨が、ようやく、じわじわと降り始めています。一方、いざばん心配なのは台風です。例年、大型の台風が襲われるのは九月、十月、十一月に偏し、テレビ、ラジオ等の天気予報には十分注意を要します。

第3表 納税義務者の内訳

内 訳	均等割のみを納める者	所得割のみを納める者	均と所を納める者	合 計	所得割納税義務者百分比
種 類	人	人	人	人	%
給 与 所 得	312	229	(2,695) 2,882	3,423	84
営 業 所 得	697	40	(332) 383	1,120	34
農 業 所 得	1,793	70	(1,032) 1,291	3,154	41
そ の 他 の 事 業 所 得	41	14	(197) 69	118	58
そ の 他 の 所 得	3	0	(22) 14	17	82
合 計	2,846	353	(4,278) 4,639	7,832	

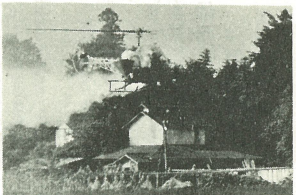
効果上げた

農薬航空散布

毎年実施されている農薬航空散布は、天候の不順の中で八月一日、十日、十一日、十二日の四日間に行なわれ、全日本航空株式会社と日本農林ヘリコプター株式会社の二社で、壬生全地域約一、一六五ヘクタールを行なったものです。

この散布は、近年水稲の害虫病、雑草枯病が発生しており、この病気を媒介しているツマゲロヨコバエ、ヒメトビウカを撲滅するために、壬生町農業航空散布事業推進協議会および壬生町農業組合が事業主体となつて、一斉散布を実施しました。

この結果、ツマゲロヨコバエ、ヒメトビウカが多量の撲滅ができて、大成功をおさめました。



同級生たちが農作業を奉仕

藤井原宿の倉井林吉さん宅では、昨年八月に林吉さんが悲惨な交通事故に合い、現在入院中。

そこで、同家では農業がおくれ大変困っていたところ、林吉さんの長女林美（二十歳）さんの藤井小学校当時同級生三千人が八月十日早朝から、この倉井さんの田や畑の草取りなど、この暑さにもめげず、勤労奉仕をされたものでした。

この話を聞いた自治会長の倉井光治さんはじめ、倉井さん一家、そして近所の人たちから大変感謝されています。

心障児に手当を支給

壬生町では、今年度から重度心障児を扶養している方に町独自に年額一百万円の手当を支給することになりました。

〇手当を受けられる方は、二十才未満の重度の精神薄弱児および一級二級の身体障害児を扶養している方です。

該当される方は次により申請してください。

一、申請場所 壬生町役場民生課

二、申請期限 九月末日まで

三、申請に必要なもの

ア、印鑑

イ、精神薄弱児の場合は、児童相談所などの交付する判定書、身体障害児の場合は手帳

